

第2期伊方町まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)

総合戦略(2020~2024年度の5か年)

人口ビジョン

長期展望(2060年を視野)

【目指すべき将来の方向】

人口の「減少スピードの抑制」と「若返り」

人口の将来展望

《本町人口の長期見通し》
社会保障人口問題研究所推計

★人口 2040年 5,564人

総合戦略の取り組み

○合計特殊出生率の向上

・現状 1.70
→ 2030年に 2.10

○社会減の抑制
・年間20人以上抑制

《目指すべき姿》
2060年

★人口 5,000人 程度

～佐田岬半島で
すべての世代が
住みたいまちを目指す～

戦略体系

基本目標

1. 若い世代が「子どもを産み、育てる」ことを選ぶ環境づくり

2. 若い世代が魅力を感じる「しごと」を増やす

3. 生活の場として選ばれる住環境と健康長寿社会の実現

推進施策

1-1 出会い・結婚・出産の増加策

1-2 安心して子育ても、仕事もできる子育て環境の拡充

2-1 農業、漁業のブランド化の確立

2-2 町内産業の活性化と多様な就業機会の拡充

2-3 町内への経済効果と“伊方ファン”増加につなげる観光・交流の活性化

3-1 UIターン希望を実現する住宅整備、受け入れ体制の構築

3-2 支えあいを基盤とする健康長寿・安全・快適な地域の実現

3-3 協働のまちづくりを实践する人財育成、集落機能の再構築

戦略の具体化を図る取り組み

主な事業

○結婚支援事業
○不妊治療支援事業

○子育て総合支援事業
○地域子育て支援拠点事業
○子ども(小・中学生)医療費助成事業

○伊方町特産品開発事業
○地域のしごとと魅力向上事業
○労働力確保事業

○奨学金返還者支援企業等補助事業
○起業家への支援事業
○企業及び研究施設の誘致

○観光資源の企画・商品化
○情報発信力強化・推進プロジェクト
○来訪のきっかけをつくるイベントの拡充
○瀬戸頂上ルートを活用した交流人口増加策

○住宅及び用地の確保
○移住・就業体験の実施
○移住者住宅改修支援事業の拡大及び住宅整備支援事業

○シルバー人材の生きがい支援事業
○公共交通機関の一体的な整備
○地区防災計画の作成
○買い物弱者対策の実施
○高齢者所有自動車への安全装置取付等助成
○亀ヶ池周辺賑わい創出事業

○地域おこし協力隊の導入
○人財育成塾の開催
○集落機能強化事業

成果目標(KPI)

●結婚支援件数 100件 (R2~6年度累計)
●不妊治療支援件数 希望者全員

●子育て支援員支援件数 1,250件
●一時預かりの受け入れ件数 300件 (R2~6年度累計)
●子ども医療費助成事業 小中学生対象

●特産品商品化件数 10件
●商談件数 50件
●新規出店事業者数 25件
●第1次産業の新規就業者数 25人(R2~6年度累計)
●担い手支援チーム組織数 5団体(R2~6年度累計)

●奨学金返還者支援企業等補助利用件数 2件
●企業誘致相談件数 19事業者(R2~6年度累計)
●起業支援件数 10件 (R2~6年度累計)

●参加者数 500人(R6年度末)
●情報閲覧者数 210,000人(R6年度末)
●きなはいや伊方まつりの集客数 37,000人(R6年度末)
●瀬戸アグリトピア利用者数 5,870人(R6年度末)

●住宅整備件数 17件 (R2~6年度累計)
●空き家バンク登録件数(新規) 25件(R2~6年度累計)
●相談受付件数 250件 (R2~6年度累計)
●転入者 230人 (R6年)

●シルバー人材センター会員数 100人
●地域巡回バス利用者数 40,000人
●地区防災計画作成地区数 26地区(R6年度末)
●自動車急発進防止装置購入・取付経費助成事業 25件(R2~6年度累計)
●かめがいけ食堂来場者数 1,500人(R6年度末)

●地域おこし協力隊人数 8人
●人材育成塾参加者数 40人
●集落機能強化のための計画策定集落件数 3件 (R2~6年度累計)